

志木二中だより

令和元年度 6月号
志木市立志木第二中学校

令和元年6月3日(月)
志木市館1-3-1 TEL 048-473-2379



伝統への挑戦と憧れ

校長 本 莊 真

5月18日(土)好天の下、第47回体育祭が開催されました。今年は10連休があり練習や準備にかけられる時間は例年以上に短かったですが、朝練習や体育の時間に集中力を発揮しやり遂げたのは、「さすが志木二中生!」でした。

入場行進、若駒讃歌、選手宣誓、準備運動など皆がはつらつときびきび動き、気持ちの良いスタート、開会式だけを見ても生徒の強いやる気が感じられました。「100m走」、皆一生懸命、「障害物競走」の選手も速い、マットの前転にすごい勢いで飛び込んでくるのでケガをしないか心配するほどでした。「全員リレー」は、どの学年もバトンパスの練習をしっかりとやってきたことがうかがえました。「むかで競



走」は、今までの練習の賜物、多少止まっても気持ちを合わせて1周していました。学年種目は大きな見どころ、3年生は「青竹争奪戦」。単純に見えて誰をどこに配置し何人で奪うか、それぞれに作戦があるようでした。2年生は「台風の目」、足の速さだけでなくチームワークが求められていました。1年生は「因幡の白うさぎ」、予行では差がついていましたが本番は接戦、どのクラスもタイムを大きく上げ練習の成果を発揮していたようです。

「長距離走」、「スウェーデンリレー」は足に覚えのある者たちの疾走、迫力がありました。午後の部一番の「部活動リレー」は部ごとの特徴を活かしたパフォーマンスがおもしろかったです。教育実習生を入れた教員チームも参加させてもらいました。名物となっている「集団行動」は今回も見事、砂塵舞う中で見応えある動きを披露してくれました。

今年の最大の盛り上がりは、最終種目の「大縄跳び」だったようです。クラスごとに3分間で何回跳べるかを競います。同時に、過去の志木二中の記録にも挑みます。今までの記録は平成28年度の152回、偉大な記録です。1年生から始まり、2年生とだんだん記録が伸びていきます。最後3年生、どのクラスも止まることなくほとんどの時間を跳んでいます。3分を告げるピストルのあとも全クラスが跳び続けています。(3分以前から跳んでいたものは止まるまで有効)しばらくして全クラスが終了、どの顔も満足そうな表情です。いよいよ結果発表、「1位、3年2組、178回!」3年2組はヤッターと万歳、他のクラスと応援席からは万雷の拍手が起きました。一気に26回も記録更新したので、しばらく破られないような気がしますが、2年生も良い記録を出していたので来年も期待できるような気がします。



「大縄跳び」だけでなく、体育祭全体を通して上級生が下級生に「志木二中生の凄さ」のようなものを見せてくれました。良き見本に憧れ、それを目指すことによってまた良き伝統が繋がっていくのでしょう。

地域、保護者の皆様には、体育祭にかかわりたくさんのご支援をいただきました。衷心より感謝申し上げます。